

令和6年度 第11回美里地域会議 会議録

日 時：令和7年2月13日（木）19時～20時30分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 忠雄、
清水 幸男、鈴木 智映子、中島 康隆、野村 耕一、
松村 洋、丸石 敏憲、望月 英光、山本 由和、吉本 勝
（欠席）小林 健一、豊田 博久、濱野 敏子、森口 美代子
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 提言について（協議）

提言書第1案の修正箇所について協議した。提言書を以下のとおり修正し、次回会議で最終調整の上、令和7年3月25日（火）に市長へ提言する。

【修正箇所】

- ・今回の提言は、地域会議で美里地区の高齢者が抱える課題について協議してきたものの、既存のデータからでは課題を特定できておらず、本当に必要な支援策を提言できない状況があるため、まずは課題を正確に把握するために、これまでより踏み込んだ、地域性を考慮した調査の必要性を提言するものである。提言書第1案では、アンケートを取ることで自体が目的であるかのような印象を受けるため、「地域の実態を把握するために調査をする」ということを前面に出し、今回の提言の目的が明確に伝わるように記載内容を修正する。
- ・提言内容は、アンケート調査に限定せず、地域の高齢者の課題を把握するための調査とし、表現は「調査の実施」、「地域特性調査の実施」、「実態調査の実施」などに修正する。
- ・調査の手法として、集いの場を活用した聞き取り調査、民生委員や高齢者に関わる団体との懇談、アンケート調査などを例示する。
- ・課題の項目に記載された「公的な支援が充実している」、「多数いる」、「支援が行き届いていない」という表現を、断言しない言い方に変える。
- ・「アドバイザーを当地域へ派遣するなど」という表現を、「アドバイザーを当地域へ派遣していただくなど」に修正する。
- ・提言の背景に記載された地域の現状は、最新の数値に修正する。

4 事務連絡

（1）今後の地域会議について

ア 第12回美里地域会議

- ・日時 令和7年3月13日（木） 午後7時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 提言書完成に向けた協議

イ 第13回美里地域会議

- ・日時 令和7年3月25日（火） 午後7時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 豊田市長への提言

(2) わくわく事業関連スケジュールについて（情報提供）

ア 令和6年度わくわく事業成果発表会

- ・日 時 令和7年2月15日（土）午前10時～
- ・場 所 高橋コミュニティセンター 2階 大会議室

イ 令和7年度わくわく事業公開審査会（美里地区）

- ・日 時 令和7年3月2日（日）
前半の部：午前10時～、後半の部：午後2時～
- ・場 所 高橋コミュニティセンター 2階 大会議室